

主日礼拝

2025 年 11 月 16 日
午前 10 時 30 分

前奏 「恵みあれしもべらに(96 番)」
(H.ウィラン)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

いかに幸いなことでしょう
勝利の叫びを知る民は。
主よ、御顔の光の中を彼らは歩きます。
絶えず、御名によって喜び躍り
恵みの御業にあずかって奮い立ちます。
あなたは彼らの力の輝きです。
御旨によって、我らの角を高く上げてください。
主は我らの盾
イスラエルの聖なる方は我らの王。(詩編 89:16~19)

頌栄 24「たたえよ、主の民」



十戒交読

司式者 わたしはあなたの神、主であって、あなたを
エジプトの地、奴隷の家から導き出した者である。
会衆 サント サント サント (讃美 85)
司式者 あなたはわたしのほかに、なにものをも
神としてはならない。
会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者 あなたは自分のために、刻んだ像を造っては
ならない。
会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者 あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに
唱えてはならない。
会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者 安息日を覚えて、これを聖とせよ。
会衆 サント サント サント (讃美 85)
司式者 あなたの父と母とを敬え。
会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者 あなたは殺してはならない。
会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。

司式者 あなたは姦淫してはならない。
会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者 あなたは盗んではならない。
会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者 あなたは隣人について、偽証してはならない。
会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者 あなたは隣人の家を貪ってはならない。
会衆 サント サント サント (讃美 85)

85「サントサントサント」



賛美 15-1,2「みことばにより」

Songs of praise the angels sang
詞: James Montgomery, 1771-1854

NORTHAMPTON
曲: Charles J. King, 1859-1934



祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来させたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」



聖書 サムエル記上 16:1～13 旧約(新共同訳)P453～P454

1 主はサムエルに言われた。「いつまであなたは、サウルのことを嘆くのか。わたしは、イスラエルを治める王位から彼を退けた。角に油を満たして出かけなさい。あなたをベツレヘムのエッサイのもとに遣わそう。わたしはその息子たちの中に、王となるべき者を見いだした。」2 サムエルは言った。「どうしてわたしが行けましょうか。サウルが聞けばわたしを殺すでしょう。」主は言われた。「若い雌牛を引いて行き、『主にいけにえをささげるために来ました』と言い、3 いけにえをささげるときになったら、エッサイを招きなさい。なすべきことは、そのときわたしが告げる。あなたは、わたしがそれと告げる者に油を注ぎなさい。」4 サムエルは主が命じられたとおりにした。彼がベツレヘムに着くと、町の長老は不安げに出迎えて、尋ねた。「おいでくださったのは、平和なことのためでしょうか。」5 「平和なことです。主にいけにえをささげに来ました。身を清めて、いけにえの会食と一緒に来てください。」サムエルはエッサイとその息子たちに身を清めさせ、いけにえの会食に彼らを招いた。6 彼らがやって来ると、サムエルはエリアブに目を留め、彼こそ主の前に油を注がれる者だ、と思った。7 しかし、主はサムエルに言われた。「容姿や背の高さに目を向けるな。わたしは彼を退ける。人間が見るようには見ない。人は目に映ることを見るが、主は心によって見る。」8 エッサイはアビナダブを呼び、サムエルの前を通らせた。サムエルは言った。「この者をも主はお選びにならない。」9 エッサイは次に、シャンマを通らせた。サムエルは言った。「この者をも主はお選びにならない。」10 エッサイは七人の息子にサムエルの前を通らせたが、サムエルは彼に言った。「主はこれらの者をお選びにならない。」11 サムエルはエッサイに尋ねた。「あなたの息子はこれだけですか。」「末の子が残っていますが、今、羊の番をしています」とエッサイが答えると、サムエルは言った。「人をやって、彼を連れて来させてください。その子がここに来ないうちは、食卓には着きません。」12 エッサイは人をやって、その子を連れて来させた。彼は血色が良く、目は美しく、姿も立派であった。主は言われた。「立って彼に油を注ぎなさい。これがその人だ。」13 サムエルは油の入った角を取り出し、兄弟たちの中で彼に油を注いだ。その日以来、主の霊が激しくダビデに降るようになった。サムエルは立ってラマに帰った。

賛美 96 「恵みあれしもべらに」

God of the prophets
詞：Dennis Wortman, 1835—1922, Carl P. Daw, Jr., 1944—

OLD 124TH
曲：ジュネーヴ詩編歌、16世紀



- 恵みあれしもべらに、主のみわざ継ぐ者に。
エリヤよりエリシャへと
その衣受け継がれ
神の道備えらる。
- 聖別せよ、預言者を。
主のみ旨さとらしめ、
世の悩み共に負い
悪しき者打ち砕く
神の義を
- 聖別せよ、祭司らを。
キリストのみ恵みと
とりなしの犠牲とを
教会の業として
感謝をもて担う者。
- 聖別せよ、王たちを。
神の霊に導かれ
神の道捨て
主の愛を基とし
平和の国打ちたたてよ。

5 使徒となれ、しもべらよ。
み恵みの十字架を
いずこにも語りつけ、
ひたすらに主に仕え
遂に立つ、主の前に。

説教 「心を見る主なる神さま」

聖餐式 81 「主の食卓を囲み」

(配餐前 1,2 節、後 3 節)

詞：新編王敏、1938—

MARANA THA
曲：新編王敏、1938—



賛美 447 「神のみこころは」

Was mein Gott will, gescheh allzeit
詞：Albrecht von Preussen, 1490—1568

WAS MEIN GOTT WILL
曲：Claude de Sermisy, 1490?—1562



1 かみ の み こころ は つねに い と た だ し く、
2 わ が 主 は な ぐ さ め わ が い の ち の の ぞ み、
3 す べ て を し り た も う み か み を お そ れ つ つ
4 な や み、 く る し み に な げ く わ れ を と ら え、

し ん じ る も の ら を み 手 も て た す け た も う。
で き ご と う み だ す み し ん じ の み こ と ば。
み か お を し た い て や す ら ぎ を 身 に う け ん。
お じ ま ど う も の を な ぐ さ め た も う 主 は

な や み よ り す く う ふ か き あ わ れ み
わ れ ら の す べ て を み 手 に お さ め て、
お わ り の と き に も ま よ わ ず ゆ だ ね ん。
せ つ な る い の り を こ ば む こ と な し。

わ れ ら こ こ ろ よ り し ん じ て よ り た の ま ん。
か み の ひ と す じ も の こ さ ず か ぞ え た も う。
つ み も 死 も よ み も わ れ に か つ こ と な し。
き よ き 主 の み 名 を と わ に た た え よ、 アーメン。

- 1 神のみこころは つねにいと正しく、 3 すべての知りたもう み神を恐れつつ
信じるものを み手もて助けたもう。 み顔をしたいて 安らぎを身に受けん。
悩みより救う 深きあわれみ 終わりの時にも 迷わず委ねん。
われら心より 信じてより頼まん。 罪も死も陰府も われに勝つことなし。
- 2 わが主は慰め わがいのちの望み、 4 悩み、苦しみに 嘆くわれをとらえ、
出来事生み出す 真実のみことば。 おじまどう者を 慰めたもう主は
われらの全てを み手におさめて、 せつなる祈りを 拒むことなし。
髪の一とすじも 残さず数えたもう。 聖き主のみ名を とわにたたえよ、アーメン。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



アーメン アーメン アーメン

後奏 「神のみこころはつねにいと正しく(447 番)」 (W.F.バッハ)

司 式 山野上 純子
説 教 向井 希夫牧師
奏 楽 玉理 照子
助 餐 大代 恵

※お立ちになるのが困難な方は、座ったままで礼拝をお守り下さい。
※賛美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。